

世界が進むチカラになる。



MUFGからのメッセージ

サステナビリティとは、この世の中を持続可能に
していくという考え方です。MUFGはこの考え方に
賛同し、さまざまなことに取り組んでいます。
その一端を皆さまに知っていただきたくて、この

ブックレットを創刊しました。

<<< サステナビリティ情報はこちら

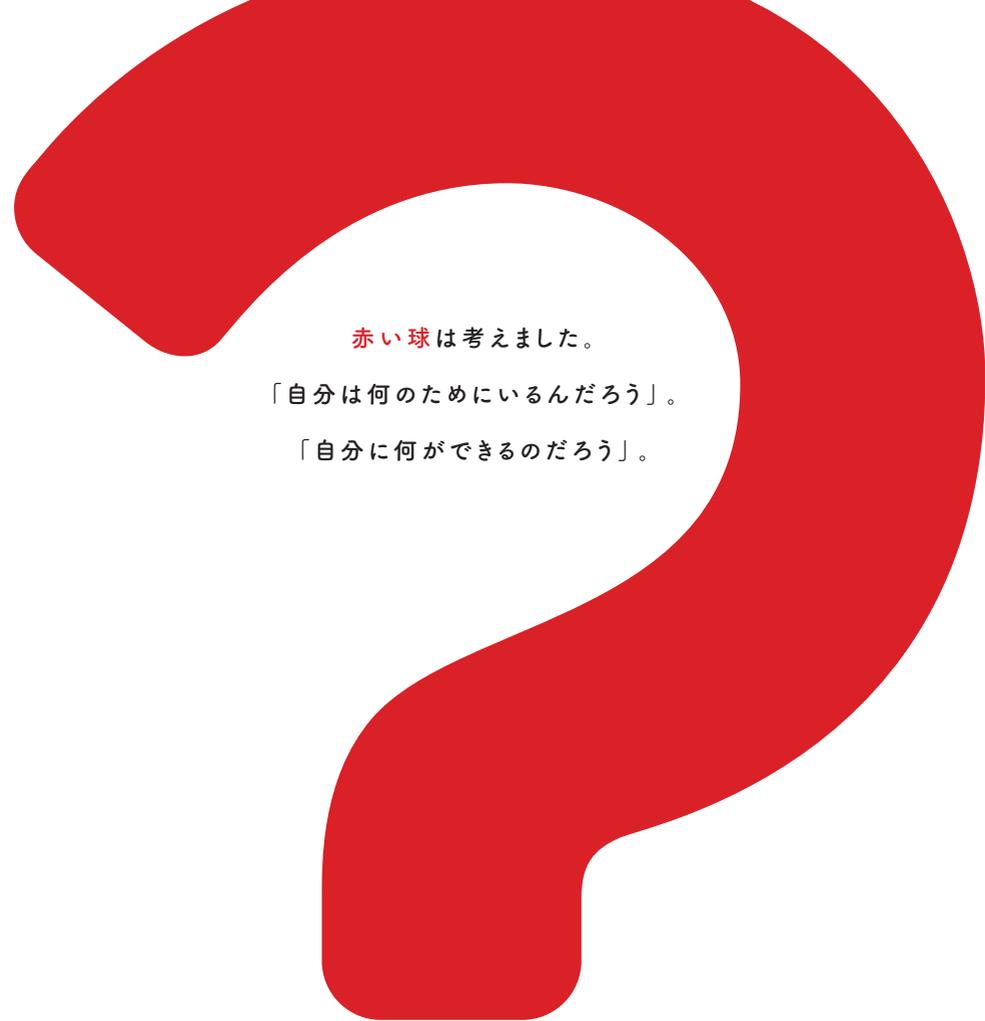


お問い合わせ先
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
☎ 03-3240-8111 (代表) 🌐 <https://www.mufig.jp/>

発行月 ● 2021年6月
発行者 ● 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
企画・制作 ● 株式会社エッジ・インターナショナル



Printed in Japan



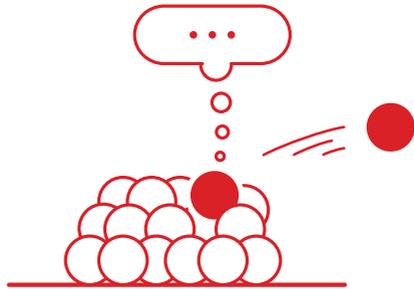
赤い球は考えました。

「自分は何のためにいるんだろう」。

「自分に何ができるのだろう」。



MUFGサステナビリティブックレット
三菱UFJフィナンシャル・グループ



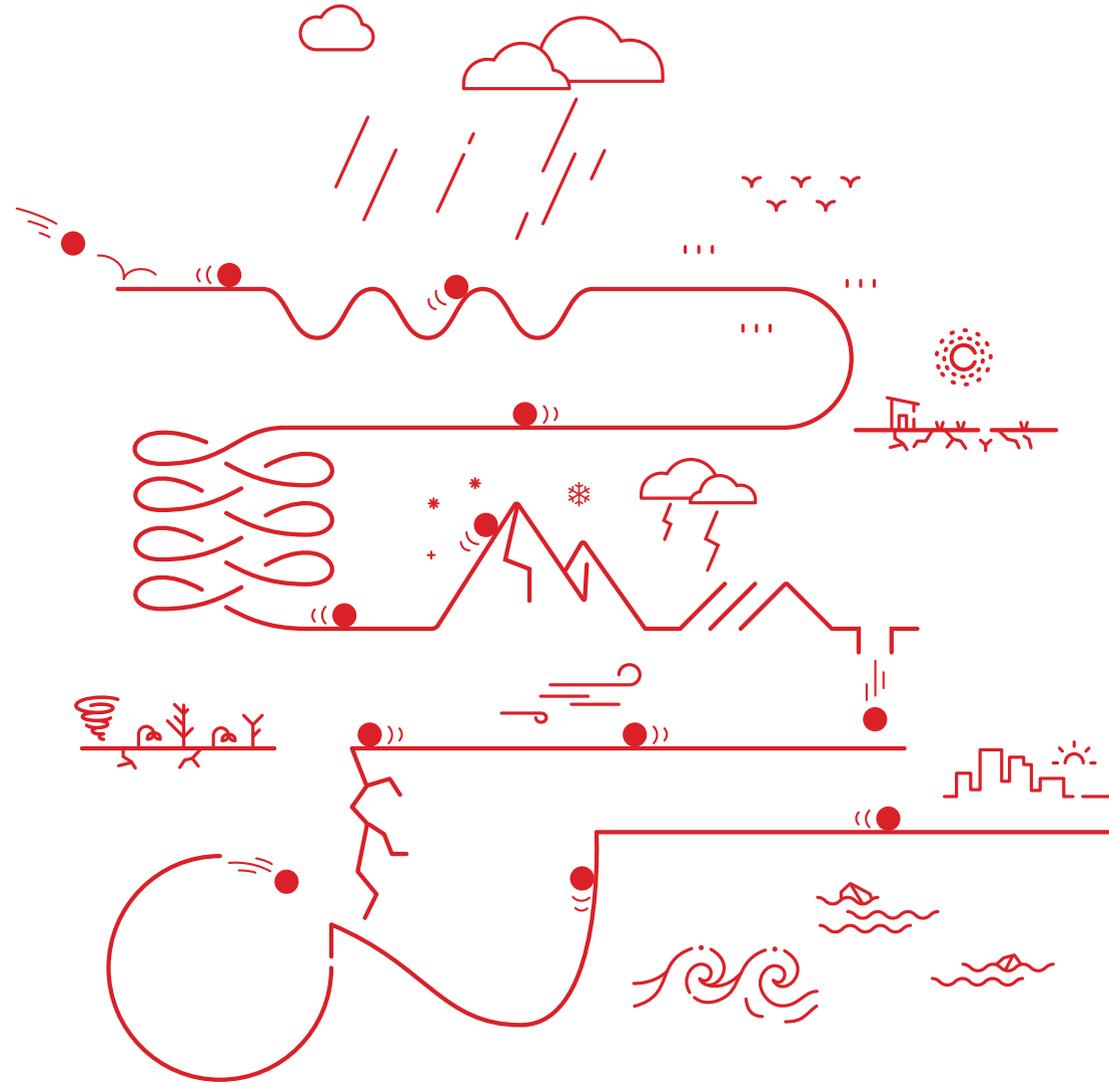
赤い球は考えました。

「自分は何のためにいるんだろう」。「自分に何ができるのだろう」。
そんなふうに考えていたある日、赤い球はあることに気づきました。

「そうだ、自分にはできることがたくさんある！」

いてもたってもいられなくて、赤い球は旅に出ました。

ある熱い想いを胸に秘めて。



旅をしながら、赤い球は思いました。

「やっぱり、ちょっと変だぞ」。

降りしきる雨も、吹き付ける風も以前よりずっと強くなっています。

ときに洪水を引き起こすかと思えば、一滴の雨も降らない乾いた大地もありました。

それでも、赤い球は休むことなく転がり続けました。



するとどうでしょう。赤い球がとおったあとには
花が咲き、緑がしげって、人がつどい、街ができ、
みんなが笑顔になるのです。
旅立ちのとき、赤い球が抱いた熱い想い。
それは「世界が進むチカラになる。」
「赤い球」の旅はまだまだ続きます。



「赤い球」に込めた想い

私たちが暮らす世界には、たくさんの課題があります。

少子・高齢化や人口減少による経済の成長鈍化。

地球温暖化や異常気象などの環境問題。

そこに追い打ちをかけたのが、新型コロナウイルス感染症の拡大です。

このままでは私たちの未来はどうなるのでしょうか。

しかし、悪いことばかりではありません。

インターネットの普及は、誰もが世界中の情報に自由に

アクセスすることを可能にしました。

多様性を認めようという考え方も広がっています。

誰もが自分らしくふるまい、生きることができる、

そんなやさしい時代を迎えたとも言えます。

この激動の時代を生きる全ての人が、

前へ進むためのチカラになりたいとMUFGは思っています。

一人ひとりの幸せのために、次のステージに進もうとしている人の想いをかなえるために、

持続可能な未来のために。

お客さまやパートナーのチカラに、地域や社会のチカラに、

MUFGの仲間のチカラに、未来の世代のチカラになりたい。

赤い球のように、

「世界が進むチカラになる。」

MUFGは、全力を尽くします。



「世界が進むチカラになる。」ために

気候変動、少子・高齢化、貧困…今、世界は多くの問題を抱えています。私たちMUFGは、SDGsを踏まえた10の課題解決の取り組みを通じて、全ての人の豊かな暮らしを支えるチカラになりたいと考えています。



「自分が何ができるのだろう」と考えることが、持続可能な世界の実現に貢献する第一歩!

SDGsって何だっけ?

SDGs (エスディーゼーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに私たちが達成すべき世界的目標です。17の目標にはそれぞれ具体的な取り組みがあり、合計すると169ものターゲットが設定されています。目標達成に向けては、先進国と発展途上国がパートナーシップに取り組み、国際機関や政府だけでなく、企業や学術機関、さらには子どもも含めた全ての人が、「誰一人取り残さない」世界の実現のために行動することが求められています。私たち一人ひとりに何ができるのか、考えてみましょう。



<<< SDGsをもっと詳しく知りたい方は、こちらの動画をチェック!
外務省「SDGs NOW! 17 Goals to Transform Our World」

「あなたのために」が、「世界のために」。

お客さま・パートナー、地域・社会、MUFGの仲間、未来の世代が前へ、次へ進むチカラになること。それが、私たちの暮らす世界がより良い方向へ進むチカラになるのです。

お客さま・パートナーのチカラに

デジタルを活用した新しいサービスなどを通じて、お客さまの豊かな生活や人生のチャレンジを応援します。

地域・社会のチカラに

地域コミュニティへ積極的に関わり、つながりをもっと強くすることで、安心・安全な明るい社会に貢献します。

MUFGの仲間のチカラに

一人ひとりの個性を尊重し、ありのままの輝きを大切にし合える環境と成長機会をつくれます。

未来の世代のチカラに

今、そして未来を生きる世代のために、人と地球が調和し共生する世界をめざします。

お客さま・パートナーのチカラに

MUFGはこれまで長い間、お客さまからの信頼・信用に支えられてきました。だからこそ、お客さまの資産を守る、お客さまの事業を次世代に引き継ぐ、新たなことにチャレンジする人を後押しする、「金融」にできることはたくさんあります。超高齢化社会を迎え、経済も先行きが不透明な時代ですが、ご高齢の方でも若い方でも、誰もが自分らしい豊かな生活を実現するためのチカラになりたい。これが私たち、MUFGの熱い想いです。

65歳以上人口
(高齢化率)

↗28.8%



出典：総務省「人口推計」
令和2年9月1日現在(確定値)

日本人の平均寿命

男性 ↗81.41歳 | 女性 ↗87.45歳



出典：厚生労働省
「令和元年簡易生命表」

ベンチャーキャピタルなどによる
国内のベンチャー企業への
投資件数

↗1,490件



出典：一般財団法人
ベンチャーエンタープライズセンター
「ベンチャー白書2020」

theme 01

未来を創ろうとしている人を支援します

ベンチャー企業とは、これまでにない発想や技術で新しいビジネスを展開しようとしている会社のこと。
次の時代の扉を開ける可能性に満ちたベンチャー企業を、MUFGは全力で支援します。

Rise Up Festa

今後の成長が期待されるベンチャー企業の支援プログラムです。まず、事業化に向けた強い意欲・技術をお持ちの方の事業プランを募集します。その中から選考を経て、革新的で独創的なプランに対して、MUFGのネットワークや経営支援など、これまで培ってきた豊富なノウハウを最大限に活かし、中長期的に支援します。



Rise Up Festa (2019年)

お客さま・パートナーのチカラに

地域・社会のチカラに

MUFGの仲間のチカラに

未来の世代のチカラに

theme 02

いつでも・どこでも、「これしたい」をかなえます

かつては窓口でしか手続きできなかった多くのお取引が、アプリなどで行えるようになりました。
MUFGは今後も利便性向上に向けて、いつでも・どこでも利用できるサービスを拡充していきます。

スマートフォンが“窓口”に

銀行の「かんたん手続きアプリ」は新規口座開設や住所変更、キャッシュカード再発行などができるスマートフォンアプリです。証券の「MUFGテラス」では株取引などのオンライントレードに加え、知識豊富な専門家にチャットで投資相談もできます。いつでも・どこでも、お客さまのご都合に合わせてご利用いただけます。



来店不要の
かんたん手続きアプリ



カードの再発行も
アプリでかんたんに

theme 03

人生100年時代に寄り添います

人生100年時代。これまでの「定年」60歳は、人生の晩年ではなく折り返しを少し過ぎただけ。
長い人生を充実させるために、MUFGは資産形成のお手伝いを通じてあなたの人生に寄り添います。

投資や保険の相談業務

20~40代が資産形成期、50~60代はセカンドライフ準備期、70代以降はセカンドライフ充実期。それぞれのライフステージに最適な資産形成、運用の仕方をお客さまと一緒に考えます。定期預金、外貨預金、債券、投資信託、生命保険、税制優遇制度など、お気軽にご相談ください。



「予約型代理人」サービス

認知・判断機能の低下により、老後の備えとしてのご資産を必要な時に引き出すことが困難になるケースが多くなります。そこでMUFGは、ご本人による金融取引ができなくなる場合に備え、代わりにお取引いただく代理人を指定できるサービスを導入しました。



地域・社会のチカラに

地域・社会が抱える課題はさまざまです。MUFGは、多種多様な社会課題について地域の皆さまと一緒に考えます。そして、私たち独自の金融サービスを活かして、災害に強いインフラ構築や地方創生等を実現します。積極的に課題解決に取り組むことで、安心・安全な地域・社会を築くためのチカラになります。

災害による
施設関係等被害額
9,348億円/年



出典：内閣府
「令和3年版防災白書」

インターネットバンキングでの
不正送金等
1,847件



出典：総務省「不正アクセス行為の
発生状況」(令和2年)

単独世帯数
1,490万世帯



出典：厚生労働省
「2019年 国民生活基礎調査」

theme 01

東日本大震災からの復興

MUFGは、東日本大震災により被災された地域において、中長期的な視点で復興支援を行っています。被災された皆さまが、一日でも早く穏やかな生活に戻れるよう、支援活動に取り組んでいます。

広大な農地を活かした「新エネ社会構想」

福島県は、エネルギー需要相当分以上を再生可能エネルギーで生み出す「新エネ社会構想」により、復興の歩みを進めています。MUFGは融資を通じて、帰宅困難区域に囲まれた同県双葉郡浪江町のメガソーラー発電プロジェクトを支援しました。地域の雇用創出にも貢献しています。



浪江谷津田復興ソーラー

児童・生徒の学ぶ意欲を育むために

2011年4月に「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」を創設し、継続的な支援に取り組んでいます。震災によって親を亡くした児童・生徒を対象にした奨学金制度により、子どもたちを応援しています。本基金の総額は、30億円前後となる見込みです。



MUFG・ユネスコ協会
東日本大震災復興育英基金

theme 02

お客さまの資産・情報を守ります

急速に拡大しているデジタル化は、生活の利便性を向上させる反面、情報漏えいや不正アクセスといったセキュリティ面のリスクを伴います。MUFGは、サイバー攻撃などに対応したセキュリティ対策を推進しています。

サイバーセキュリティ対策

電子決済などのオンラインサービスの利用増加に伴い、サイバー攻撃が増えています。認証の強化や脆弱性対策の徹底、不正取引のモニタリングなど、安全なサービスを安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。



theme 03

地域の皆さまとともに

MUFGは、地域・社会の多種多様な課題に直面しても、すぐに立ち直ることができる強しなやかな社会を創造します。そして、持続可能な社会における新しいコミュニティ形成のチカラになります。

「賑わいづくり」×「上質な場」の創造

三菱UFJ銀行大阪ビルの1階には、カフェやギャラリーなど、くつろぎながら気軽にアートや歴史に触れられる空間があります。コミュニティ形成における「賑わいラウンジ」として地域イベントにもご利用いただけます。



大阪ビル1階
ギャラリーラウンジ

お金の歴史を学ぶ 貨幣資料館

三菱UFJ銀行貨幣資料館（名古屋市）では、国内外の歴史的な貨幣を展示しています。お金にまつわる体験コーナーもあり、世代を問わず楽しめる空間です。2021年11月には三菱UFJ銀行新名古屋ビル1階に移転し、リニューアルオープンします。



現存3枚の金貨「天正沢渡
(おもだか) 大判」などを展示

「MUFGパーク」に集まろう!

地域コミュニティにおける新しい憩いの場として、「MUFGパーク（仮称）」を2023年6月に一般開放予定です。ネイチャー・スポーツ・コミュニケーションの3つのコンセプトエリアから構成され、緑に囲まれた空間で、運動や読書を楽しむことができます。



東京都西東京市にオープン予定
(イメージ)

MUFGの仲間のチカラに

全ての社員が、やりがいを感じて生き活きと働くことができる—MUFGはそんな職場づくりに取り組んでいます。また、インクルージョン（誰もが認められ活かされる社会・組織であること）&ダイバーシティ（それぞれの多様性・多様な価値観が尊重されること）を推進し、一人ひとりの個性を尊重しながら、多様な人材が力を発揮し成長できる会社をめざしています。その実現のために、MUFGは仲間のチカラになります。

MUFGの育児休業取得者数
(2020年度)

4,300名



MUFGの男性社員育児取得率

目標 100%



該当年度中に育児休業の取得期限が
到来する男性社員の取得率

MUFGの寄付プログラム

利益の約 1%



グループ業務利益(与信関係費用等
控除後)の1%相当を社会貢献に拠出

theme 01

仲間が生き活きと働ける職場に

さまざまな取り組みを通じて、全ての社員が働きがいを感じ、持てる能力を最大限発揮できる職場づくりに進めています。また、時代の変化に合わせて、働き方の選択肢を増やし、社員の働きやすさにつなげます。

ジェンダーダイバーシティを実現します

キャリア研修や役員座談会、育児両立支援制度など、女性を対象としたプログラムを実施しています。こうした取り組みが評価され、MUFGは女性活躍推進に優れた企業として、2021年に「なでしこ銘柄」に選定されました。多様性を活かすことのできる職場づくりに一層注力していきます。



働く環境を自分で選ぶ

MUFGでは、リモートワークや時差勤務制度などを積極的に推進しています。働く場所や時間にしばられない柔軟な働き方の実現が、社員のモチベーション向上と業務の効率化につながると考えています。



社員のWeb会議風景

theme 02

社会貢献活動で感謝の気持ちを伝えたい

MUFGの社員一人ひとりが身近な社会の課題に対し主体的に考え、想いを行動に移すことで地域や社会に貢献しています。こうした活動は社員の自己成長にも役立つと考えています。

支店周辺での清掃活動

日頃からお世話になっている地域の皆さまに感謝の想いを伝えるため、総勢70名で支店周辺を清掃しました。



池袋周辺の支店の仲間

老人ホームへ楽しい時間を届けたい

地域の皆さまとつながる機会をつくりたいという想いから、社員手作りのオーナメントを飾り付けたクリスマスツリーをプレゼントしました。



大泉支店の仲間

地域の活性化にもつながる献血活動

日本赤十字社と協働で献血活動を実施。献血していただいた皆さまに地元のお菓子を配ることで、地域活性化にもつながりました。



たまプラーザ支店の仲間

子ども食堂のボランティア

経済的な理由などで十分に食事がとれない子どもたちに、温かい食事を提供する「子ども食堂」。健康を守り、安心して過ごせる居場所づくりに協力しました。



プロモーション営業部の仲間

社会課題に向き合い、
できることから行動を
起こし、私たちの
未来を変えていこう!



未来の世代のチカラに

今、そして未来を生きる世代が、のびのびと自己実現できる環境を創りたい。私たちはそんな想いで、気候変動への対応や次世代の支援に取り組んでいます。地球温暖化による自然災害や資源の枯渇などから地球を守るため、環境にやさしいエネルギーの普及に貢献しています。また、さまざまな支援活動を通して、若い世代の健やかな成長を後押ししていきます。MUFGは、未来の世代のチカラになるためのアクションを積極的に起こしていきます。

子どもの貧困率

14.0%



出典：厚生労働省
「2019年 国民生活基礎調査」

2019年度の家庭における
一人当たりの二酸化炭素排出量

1,859kgCO₂



出典：温室効果ガスインベントリオフィス
冷房や自家用乗用車などから排出されるCO₂。

30年間（1990年から2020年）での
世界の森林減少面積

1.78億ヘクタール
日本の国土面積の約5倍



出典：国連食糧農業機関
「世界森林資源評価（FRA）2020」

theme 01

子どもたちに夢と希望を与えたい

世界には経済的な理由で、病気の治療や教育を受けることが困難な状況にある子どもたちがたくさんいます。私たちは、そんな子どもたちの未来を守るため、寄付による支援を続けていきます。

子どもの健やかな成長を応援

貧困家庭や闘病中の子どもたちを対象に活動している団体へ、3年間で総額1.8億円の寄付を行っています。子どもたちが元気に笑顔でいられるように、継続的な支援をしていきます。



「認定NPO法人
日本クリエイト協会」の活動

全ての子どもに学ぶ機会を

経済的な理由で、進学ができない子どもたちや、病気や災害などで親を亡くした子どもたちの学びの機会を守るため、支援団体を通じて2020年度合計10億円の寄付を行いました。



「一般財団法人
あしなが育英会」
での贈呈式

theme 02

未来の世代へ豊かな地球を引き継ぐために

MUFGは、地球温暖化の主な原因であるCO₂の排出量を削減するために、環境にやさしいエネルギーの普及支援や植樹活動を行うなど、さまざまな取り組みを積極的に進めています。

環境にやさしい再生可能エネルギーを支援

再生可能エネルギーとは、石油や石炭などと違い、CO₂を排出しないエネルギーです。MUFGは、再生可能エネルギーへの融資等を通じた支援により、日本人1,600万人の年間排出量に相当する大幅なCO₂排出量の削減に寄与しています。2020年度には、日本初の洋上風力発電向けプロジェクトファイナンスに参画するなど、さまざまな取り組みを進めています。



あなたのワンアクションで森を元気に!

今、世界中でCO₂の吸収装置でもある森林が減少しています。私たちは、失われていく森林を守りたいという想いで「MUFGの森」をスタートしました。インターネット通帳の新規申込・切替の件数に応じて、約10万本の苗木を植えるプロジェクトです。あなたもMUFGと一緒に森を育ててみませんか。



温室効果ガスの排出量をネットゼロにします

ネットゼロとは、温室効果ガスの排出量を、再生可能エネルギーの導入や環境保全活動等によって実質的にゼロにすることを意味します。まずは、2021年度中に銀行・信託・証券の国内拠点で使用する自社契約電力を実質的に100%再生可能エネルギーにします。2030年には、自社の温室効果ガスの排出量ネットゼロをめざします。



MUFGカーボンニュートラル宣言を発表しました。

2050年までに脱炭素社会をめざすため、MUFGが果たすべきコミットメントを定めました。詳細はこちら>>>



TO BE
CONTINUED...